

安全の手引き

令和6年3月

在レシフエ日本国総領事館

はじめに

当領事館のあるレシフェ市で2023年に発生した殺人事件は597件でした。この数字は10万人あたりの割合に換算すると40.1人となり、ブラジル国内の一都市で起きた殺人事件数が、日本全体(0.69人)のおよそ58.1倍の発生率を持つという結果になります。この事から当地の治安はきわめて悪い状況であると言えるでしょう。そして、この発生率はブラジル国内においても常に上位に位置しています。その理由として、当地での犯罪には、拳銃やナイフを使用したものが非常に多い事が挙げられます。更に近年では犯罪の手口も凶悪化していますので、当地を訪れる際には「自分の安全は自分で守る」必要があることを深く認識し、渡航・滞在の目的に合わせた情報収集や安全対策に努めて下さい。

繰り返しになりますが、中南米、特にブラジルではほとんどが拳銃やナイフを使用した犯罪が多いため、一歩間違えれば命を落としてしまう危険があります。当地では、日本で生活していれば、想像もつかないことが日常的にありますので、普段の生活において、いかに犯罪に遭遇するリスクを抑えるよう行動するかを常に念頭におくことが重要です。日本での生活と違い、海外で安全を他人任せにすることは、非常に危険な考え方であることを肝に銘じてください。

今般、皆様が当地にて、より安全な生活を送られるための一助となるように、留意事項をまとめた「安全の手引き」を改訂しました。お気づきの点等ありましたら、ご意見等お聞かせ下さい。

在レシフェ日本国総領事館

電話：(81) 3049-8300 (代表)

住所：Av. Eng. Domingos Ferreira 1097 Edf. Gabriel Bacelar Corporate 7andar

Boa Viagem - Recife PE CEP:51011-051 BRASIL

目次

1. 基本的な心構え
2. 当地の治安情勢
 - (1) レシフェ（ペルナンブコ州）における犯罪発生状況
 - (2) サルバドール（バイア州）における犯罪発生状況
 - (3) フォルタレーザ（セアラ州）における犯罪発生状況
 - (4) 2023年にレシフェ市で発生した主な事件
3. 日常生活における犯罪被害のケースと対策
 - (1) 外出時
 - (2) 車両（自動車等）の利用時
 - (3) 交通機関の利用時
 - (4) ショッピングセンターや銀行等を利用時
 - (5) 自宅関係
 - (6) 被害に遭ってしまった場合
4. 緊急事態対処
 - (1) 平素の準備
 - (2) 緊急時の行動
 - (3) 緊急事態に備えてのチェックリスト
5. 交通事情
 - (1) 道路事情
 - (2) 運転事情
6. その他
 - (1) 主な連絡先

(2) 簡単なポルトガル語集

1. 基本的な心構え

海外生活では、様々な点で日本国内とは異なります。特に日本は、ここブラジルと比べ犯罪が少なく治安の良い国です。そのため、日本に滞在している感覚で、当地で生活すると犯罪に巻き込まれる可能性が非常に高くなります。日本の電車内では通勤や通学途中に居眠りをしたり、スマートフォンに熱中したりと、まるで自身の家の中にいるかのようにリラックスした人をよく見かけますが、当地ではこのような光景はありません。基本的に、日本人は「自分の安全は自分で守る」という犯罪に対する意識が非常に低く、安全に対して他人任せになってしまいます。「自分に限っては大丈夫だろう。」「自分は被害者にはならない。」と思い、最悪の事態を想定した考えに至らない傾向があります。当地では、普段の生活において、いかに犯罪に遭遇するリスクを抑えるかを念頭におき、犯罪に巻き込まれる確率を減らす行動が必要不可欠になってきます。

(1) 常に警戒心をもって行動する

普段の生活において、可能な限り用心・警戒を怠らないようにして下さい。警戒を継続することは大変困難で、息苦しいと感じることもありますが、外出される際は、特に周囲の警戒を継続して下さい。

(2) 目立たない服装・行動をとる

派手な服装や高価なネックレス・腕時計等をして歩いたり、周囲を警戒せずにカメラ撮影をしていたりすると当然目立ちます。また、最近ではスマートフォンを狙った強盗事件がブラジル国内で非常に多く発生しており、日本の様に屋外でスマートフォンを使用することは大変危険な行為です。元々、当地では東洋人が少なく、目立たないように意識していても目を引きます。目立つということは、犯罪者から見て格好のターゲットになる可能性も非常に高くなりますので、可能な限り周囲に馴染んだ服装や行動を心掛け、高価なネックレスや腕時計等の装飾品を身につけることは控え、スマートフォンの使用もなるべく屋内で最低限にとどめるよう心掛けてください。

(3) 行動のパターン化を避ける

通勤・通学の際のルートを1つに限定しないよう心掛けて下さい。毎日決まった道を歩かず、ルートを変更してみる、時間帯を少しずらしてみる等工夫をして下さい。犯罪者のターゲットになる確率を少しでも下げることにつながります。

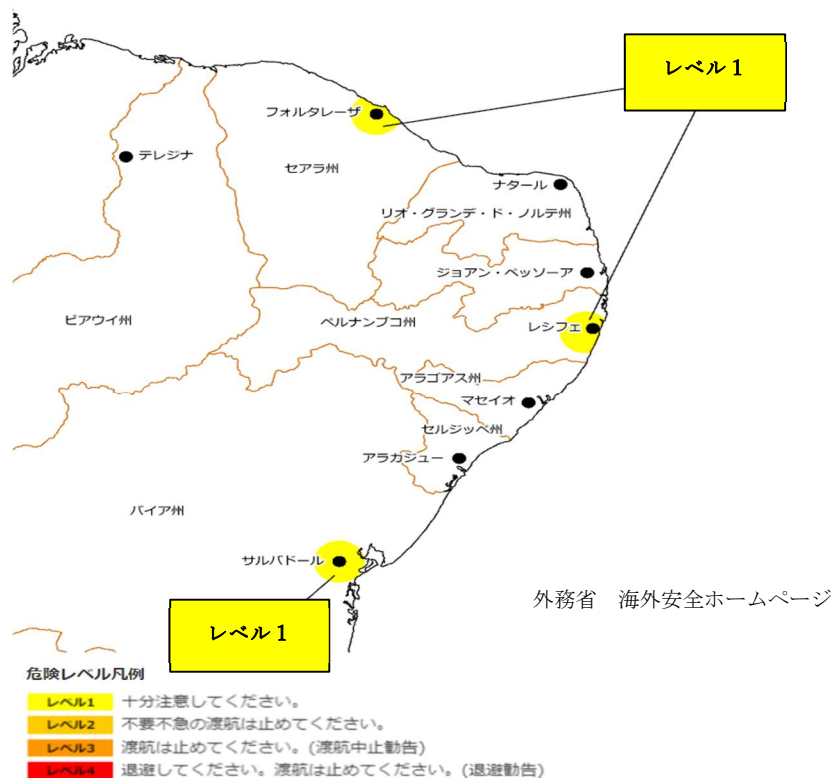
(4) 絶対に抵抗しない

強盗に遭遇した場合は、絶対に抵抗しないで下さい。犯人の顔を見ずに犯人の要求に素直に従い、その場を凌ぐことが重要です。冒頭でも述べましたが、当地では拳銃を使用した犯罪が非常に多く、犯人に抵抗してしまったため、最悪の結果を招いたという事例が多く報告されています。犯罪に巻き込まれた際は、焦らず冷静な対応を心掛けて下さい。

2. 当地の治安情勢

繰り返しますが、当地では拳銃を使用した殺人や強盗等の凶悪犯罪が多発しています。犯罪手口も凶悪化しており、貧しい人々が住むスラム街（コミュニダージ／ファベラ）が市内に点在しており、違法薬物の売買や強盗等の犯罪の温床となっています。人通りの多い商業地区でも警察と強盗団の銃撃戦が昼夜を問わず発生しており、流れ弾で多くの市民が死傷しています。観光地でも、観光客を狙った拳銃、ナイフ等を用いた強盗事件が発生しています。

外務省では、それぞれの国・地域の情勢に応じ、4段階の危険レベルを設定しています。当館管轄のペルナンブコ州大レシフェ圏、バイア州大サルバドール圏およびセアラ州大フォルタレーザ圏では「レベル1：十分注意してください」を継続しています。その国・地域への渡航、滞在に当たり危険を避けて頂くため、特別な注意が必要となります。



ブラジルではこれまでに、国際テロ組織によるテロの直接的な標的にされたことはありません。また当地の治安当局によれば、国内にテロ組織そのものが存在しないと言われており、在留邦人がテロに巻き込まれる可能性は低いと言えますが、日頃より最新の情報を入手することに努め、状況に応じて適切な安全対策を講じる必要があります。

誘拐事件については、ブラジル国内において短時間誘拐（被害者を拘束し、Pix（電子決済システム）等で現金を送金させた後で解放する）が発生しています。行動パターンに変化をつける等、日々の行動を定型化しないように心掛けて下さい。

（１） レシフェ（ペルナンブコ州）における犯罪発生状況

ペルナンブコ州社会防衛局の発表によりますと、２０１７年をピークに殺人および強盗件数は減少傾向にありましたが、２０２０年から殺人件数は再び増加に転じています。（２０２３年は州で３６３８件）一方で強盗件数は州全体では減少しており、これには政府のコロナウイルス感染症対策による外出規制等が影響したためと思われますが、レシフェ市およびレシフェ大都市圏では増加しており、市内では依然として拳銃を使用した凶悪犯罪が後を絶たない等、体感治安は一向に改善されていません。殺人発生率の高さは、主に麻薬取引とアルコール依存症に関連する犯罪が原因ですが、拳銃を使用した犯罪が多く、銃撃戦に発展した結果、住民や通行人が流れ弾に巻き込まれるケースも少なくありません。犯罪が発生する時間帯も、必ずしも夜間とは限らず、白昼に当地では比較的治安が良いとされている地区でも、拳銃による殺人事件が発生しており、当館や館員住居の至近や海水浴場でも同様に殺人事件や強盗事件が発生しています。また、当地ではスラム街（コミュニダージ／ファベラ）が市内に点在しており、高層マンションやビル街の谷間にバラック小屋がひしめき合うという光景も珍しくありません。それらの周辺地域では麻薬の売買・強盗・スリ等の被害が頻発していますので、興味本位で絶対に近づかないで下さい。建物の造りや状態、街の雰囲気明らかに他と異なりますので、万一、迷い込んでしまった場合は、速やかにその場から立ち去るようにして下さい。

（２） サルバドール（バイア州）における犯罪発生状況

ブラジル国内でも有数の観光地であるサルバドール市には、国内外から多くの観光客が集まり、多数の邦人も訪れています。同地では観光客の移動手段であるバスを標的にしたバス強盗事件が多く、２０２０年には月平均１４０件以上のバス強盗事件が発生する事態もあり、他州に比べ現在もバス強盗の被害が多い地域となっています。２０２２年には在

留邦人が被害にあう事案も複数件発生しており、体感治安も一向に変わらず、劣悪な治安状況は継続されていますので、観光で訪れる際には夜間の外出等をなるべく避けるよう、十分注意してください。

(3) フォルタレーザ（セアラ州）における犯罪発生状況

セアラ州では、2019年の1月と9月に、州内刑務所の監督方針に抵抗した犯罪組織による公共施設等への連続襲撃事件が長期間発生しました。主にフォルタレーザ市で襲撃事件は発生し、バスや車両、公共施設に対し放火等の襲撃を繰り返しました。また、2020年2月には、軍警察のストライキが発生し、一時期、無法地帯と化した地区もあります。2022年にはそのような大きな事件はなかったものの、10万人あたりの殺人発生率は31.44人と日本の45.89倍にもなっています。殺人事件や強盗事件の発生は昼夜を問わず、拳銃により多くの犠牲者が出ています。当館管轄内でも犯罪件数の数値が高く、劣悪な治安状況となっていますので、観光などで訪れる際は十分に注意してください。

(4) 2023年にレシフェ市で発生した主な事件

ア レシフェ市ボア・ピアージェン地区ソリドーニオ・レイチ通り、ラディソンホテル・レシフェ内の宝石店で、拳銃を所持した男（28歳）は仲間と共に宝石店を襲撃しようとして同店警備員と格闘になった。同警備員は強盗から銃を奪い発砲。強盗は足に被弾し、その後、駆けつけた警官により逮捕されたが、仲間は逃走した。

イ レシフェ市のボア・ピアージェン地区コンセレイリョ・アギアール通りで、ジムから出てきた男性（35歳）が自家用車に乗り込んだところをバイクに乗った男に銃撃され死亡した。隣に乗っていた妻の証言によると、犯人は発砲する前に強盗だといっていたとのこと。被害者はガソリンスタンドや自動車販売店を複数経営しており、過去に麻薬取引と銃器所持による前科があった。犯人は逃走し、現在も逮捕されていない。

ウ レシフェ市のピナ地区ボア・ビアーゼン通りに面する砂浜で、サッカーをしていた男性（27歳）が何者かに銃撃された。現場に赴いた軍警第19大隊の警官らにより市内の救急病院に搬送されたが、29日に死亡が確認された。同警察は28日午後に通報を受け、犯人の逃走先とみられたピナ地区の団地で、同団地に住む10代の少年を逮捕、小袋に梱包された40袋のマリファナと精密秤等を押収したが、犯行に使われた銃器は見つからなかった。また同少年は共犯者1名の存在を自供していることから、警察は事件解決まで捜査を継続する旨発表した。

エ 在レシフェ日本総領事館が入居しているオフィスビルに所在の弁護士事務所の男女5名が、同ビルから約200mに位置するレストランへ徒歩で向かう途中、同レストランの手前にある中古車販売店の横を通りかかったところで、ドミンゴスフェヘイラ通りの反対側から自転車で来た年齢不詳の男2人組の拳銃強盗に襲われ、携帯電話及び金製の結婚指輪等を奪われた。

オ 在レシフェ日本総領事館から1kmほど離れたピナ地区の海岸において、近接するブラジリア・テイモーザ地区に住む男性が銃で頭部を撃たれて死亡した。目撃者によると、事件の際10発以上の銃声が聞こえたとのことであり、そのうちの一発が被害者の頭部に命中したとみられる。被害者はこの地域では知られている男であり、麻薬密売に手を染めていた他、このエリアの露店で強盗を働くなどの犯罪歴があり、警察は同被害者が死亡時に8キロの大麻を所持していたと発表している。

カ 在レシフェ日本総領事館から1kmほど離れたピナ地区の海岸において、近接するブラジリア・テイモーザ地区に住む男性が銃で頭部を撃たれて死亡した。目撃者によると、事件の際10発以上の銃声が聞こえたとのことであり、そのうちの一発が被害者の頭部に命中したとみられる。被害者はこの地域では知られている男であり、麻薬密売に手を染めていた他、このエリアの露店で強盗を働くなどの犯罪歴があり、警察は同被害者が死亡時に8キロの大麻を所持していたと発表している。

3. 日常生活における犯罪被害のケースと対策

(1) 外出時

ケース①

- ・信号待ちやバス（バスは強盗等の犯罪に巻き込まれる可能性が高いため、当館としては利用を控えるよう案内しています）を待っている間に、後ろからバッグをナイフ等で切られ、中身を盗まれる。或いは何気なく近づいてきた子供に所持品をひったくられる事件が多発しています。特に一人歩きの女性や老人に加え、我々日本人はどうしても目立つことから狙われやすく、ネックレス等の装飾品を強奪される事件が多発しています。
- ・突然、背後から後頭部を殴打されたり、タックルで押し倒されたりするなど、ひるんだ隙に所持品を奪われる事件が多発しています（複数犯によるグループ犯行が多い）。
- ・突然、数人の男や少年等に囲まれ、拳銃やナイフで脅され所持品を奪われる事件が多発しています。
- ・背後からバイクで近づき、バッグやネックレスをひったくる事件が多発しています（バイクの場合も一人ではなく複数での犯行が多い）。

対策①

- ・外出時は、所持品の携行には細心の注意が必要です。地元住民が、ハンドバッグをたすき掛けにしている、リュックサックを背負うのではなく胸の前で抱えている姿をよく見かけますが、こういった行動は、ひったくりの被害を少しでも避けることが目的です。同様に財布やスマートフォンをお尻のポケットに入れられないことも、強盗やスリから身を守る方法の1つです。一目で高価な物とわかるネックレスや腕時計等の装飾品や華やかな装いは、ターゲットを物色している者から目を引きやすくなります。服装全般に気を配り、目立つ服装で街頭を歩かないよう、また、周囲と同化するような服装を心掛けて下さい。スマートフォン等の携帯電話やタブレット型端末機を狙う強盗が国内で多発していますので、人通りの少ない場所や夜間の路上での使用時は、特に周囲を警戒するよう心掛けて下さい。

ケース②

- ・ひったくりの被害に遭い、逃走する犯人を追いかけようとする、拳銃やナイフを所持した仲間が立ちはだかり、進路の妨害を図るばかりでなく、攻撃してくることもある。

対策②

- ・絶対に抵抗しないで下さい。悔しい気持ちを抑え、逃走する犯人を追いかけるようなことは絶対にせず、冷静な行動を心掛けて下さい。ひったくりといえども犯人は単独行動をすることは稀です。必ず周囲に見張り役の仲間が潜んでいます。抵抗する者に対しては、容赦なく拳銃やナイフで攻撃してきます。犯人も必死なので、抵抗することにより犯人が逆上し、最悪の事態に至るケースも多く報告されています。

ケース③

- ・知らない人に気軽な口調で呼び止められ、時間を尋ねられて腕時計で時間を確認している間にひったくりに遭う。または、そうした隙に乗じて、拳銃やナイフを突きつけられ所持品を奪われる。

対策

- ・人の親切心を利用した犯行の手口です。本当に親切心で話し掛けてくれる人との違いを見分けることは難しいので、見知らぬ人には簡単に気を許さないように心掛けて下さい。不用意に話しかけてくる人には、十分な間合いを保ち、目を離さないことが重要です。特に日本人は、話しかけられると、つい親切に対応してしまいがちなので注意して下さい。

ポイント

- ・不審者がいないか、後ろを尾行されていないか常に周囲を警戒する。
- ・進行方向へ進む前に、進行方向とは逆を振り返る等、警戒心を怠らない。
- ・人通りが少なく、暗い道は通らない。
- ・外出の際は、高価な装飾品や腕時計は極力身につけないようにする。
- ・必要以上の現金は持ち歩かない。
- ・現金は分散し所持する。
- ・身分証明書や現金、カード類を別々に所持する。
- ・スマートフォン等の携帯電話やカメラは目立たないように所持し、使用する際も周囲の状況をよく確認する。

(2) 車両（自動車等）の利用時

ケース①

- ・駐車中の車両内からバッグ等の荷物やカーステレオを盗まれる場合や車両そのものが盗難される事件も多発しています。

対策①

- ・路上駐車が可能な場合であっても、周囲の状況と時間帯を考える必要があります。監視員のいる有料駐車場が近くにあれば、必ずそちらを利用して下さい。また、車両に盗難防止装置を設置し盗難に備えることも重要です。正しい鍵を使わなければクラクションが鳴動する警報装置や、燃料が流れなくなる仕組み等、新たな防犯装置が発売されていますので、これらを備えておくと効果的です。普段から、貴重品やバッグ等はトランクに入れ、車外から見える場所には決して置かないように心掛けて下さい。

ケース②

- ・信号待ちで停車中に、開けていた窓から手を入れられ、窓ガラスを割って強引に時計やネックレスを盗られる事件が多発しています。また、停車中に犯人が数人で近寄り、拳銃やナイフを突きつけ、金品や車両を強奪されることもあります。

対策②

- ・不用意に窓を開けていると、このような被害に遭います。停車中は窓を閉める、または手が入らない程度に小さく開ける等、注意を怠らないようにして下さい。手を入れられネックレスを盗られた場合は、首にひどい怪我を負う可能性もありますので注意して下さい。また、怪しい人物が近づいてくる場合に備え、信号待ちで停車した際は、前方車両との距離を少し広め、常に周囲に気を配り、いつでも車両を発進出来るよう心掛けて下さい。

ケース③

- ・車両を走行中に、併走する車両や付近の人が車両の故障を教えてくれたため、確認しようと車外に出たところを襲われる。逆に路上で車両の故障により困っている人がいたため、車を停車し、声をかけたところを襲われる。

対策③

- ・親切そうに振る舞って油断させ、相手の親切心を利用した手口です。ブラジル人は親切で正直な人も多く、実際に故障を教えてくれたり、修理を手伝ってくれたりする場合がありますが、相手が見知らぬ人である限り、油断せず警戒心を持って対応するように心掛けて下さい。

ケース④

- ・駐車中に、車両のタイヤをパンクさせられ、タイヤの交換をしていると襲われる。また、走り出してからパンクに気付いた場合でも、尾行され車外に出たところを狙って襲われることがある。

対策④

- ・パンクを見つけた場合は、周囲の状況を確認し、可能な限り人通りの多い場所やガソリンスタンド等の適当な場所へ移動してから、タイヤ交換を行うようにして下さい。また、修理を依頼し、待機している際も、周囲の警戒を怠らず、要すればビルやレストラン等比較的安全な場所へ移動し待機するようにして下さい。強盗だけでなく、誘拐の危険性もありますので、決して車内で待機することがないように注意して下さい。

ポイント

- ・外から見える場所にはバッグ等を置かない。
- ・乗降時は必ず周囲に不審者や不審車両がないか確認する。
- ・走行中にパンクした場合は、その場には止まらず、ガソリンスタンド等比較的安全な場所へ移動する。
- ・必ずドアロックをし、窓は閉めた状態にする。
- ・信号等で停車する場合は、早めにブレーキをかけ、ゆっくり進み、極力停車時間を短くする。
- ・駐車場を必ず利用する。

(3) 交通機関の利用時

ケース①

- ・タクシー利用時に、降車後に料金を渡そうとしたところ、ひったくりで金品を奪われる。

対策①

- ・料金の精算や現金の受け渡しは車内で行うことが大原則です。また、必ず周囲の安全を確認した上で降車して下さい。

ケース②

- ・混雑した路線バスやメトロ内でのスリ。バスやメトロの乗車口付近に立っていたら、扉の開閉時の一瞬の隙にハンドバッグをひったくられる。

※バスやメトロの利用は極力控えて下さい

対策②

- ・歩行中と同様に常に周囲を警戒する必要があります。日本の通勤電車のように、居眠りをしたり、雑誌を読みふけっていたりすると、隙が生まれますので注意して下さい。また、車両内での立ち位置は、乗車口付近は避けた方が無難です。

ケース③

- ・バスに乗車中に武装強盗（多くは複数）が乗り込んできて、所持品を奪われる。

対策③

- ・バスの中での強盗事件は、日本では考えられませんが、ブラジルでは頻繁に発生します。万一、強盗に遭遇してしまった際は、周囲の状況を冷静に判断し、命の安全を最優先にした行動が必要です。反撃したり、逃走を試みることは、最悪の事態を招く恐れがありますので、決して抵抗しないで下さい。また、当地では犯人以外の第三者（同乗者）も拳銃を所持している場合があります、犯人と第三者との間で銃撃戦に発展することもあります。流れ弾を避けるため、またターゲットとならないよう、身をかがめて体勢を低くし、周囲の状況を冷静に把握するように努めて下さい。

※バスの利用は極力控えて下さい

ポイント

- ・流しのタクシーは利用せず、電話やアプリで呼び出すか、ホテルやショッピングセンターに待機しているタクシーを利用する。
- ・タクシー利用時の料金の精算や現金の受け渡しは必ず車内で行う。
- ・乗降時は必ず周囲に不審者や不審車両がないか確認する。
- ・路線バスやメトロの利用は極力避ける。
- ・路線バス等を利用せざるを得ない場合は、スリやひったくりに十分注意をする。

（４）ショッピングセンターや銀行等の利用時

ケース①

- ・店員の不親切な対応や、会計の長い待ち時間で注意力が散漫になっている隙に財布等をスラれる。

対策①

- ・当地の接客では、日本のように速やかに対応することは稀で、混雑時には会計待ちの長蛇の列が出来ることがあり、イライラしたり、気が散ったりと注意力が散漫になることがありますが、安全への配慮は怠らず、周囲の警戒を忘れないよう心掛けて下さい。

ケース②

- ・銀行（ATMを含む）から出たところで、ひったくりや強盗に遭遇する。

対策②

- ・銀行で多額の現金をおろした利用客の跡をつけ、人通りの少ない場所で現金を奪う手口があります。複数犯の犯行では、狙った利用客の背中に気付かれないようにシール等を貼り、外で待ち構える仲間の目印にするパターンもあります。外部から見通せない造りの店舗でも、このような手口がありますので、常に周囲を警戒して行動して下さい。第三者から見えるような状態で多額の現金を引き出したり、派手な買い物をしたりすることは、当然ながら被害者になるリスクを高めますので、十分注意して下さい。また、ATM機を利用時に、偽のATM操作パネルが取り付けであったり、カードやパスワードの読み取り機器（スキミング手口）が取り付けであったりします。周囲に不自然な人物が居ないか、また、ATM機に違和感があったら、他の店舗や他のATM機を利用するようにして下さい。なお、銀行に限ったことではありませんが、銀行やショッピングセンター等を利用した際は、強盗に遭遇した場合を想定し、身を隠す場所や避難経路を予め確認するようにして下さい。また、強盗に遭遇した場合は、絶対に抵抗せず、目立たないようにすることが重要です。

ポイント

- ・利用する曜日や時間帯をパターン化しない。
- ・多額の現金を一度に引き出さない。
- ・入店前から周囲に不審者・不審物がないか注意する。
- ・ATM機を操作する際は、周囲に見られないように注意する。
- ・スキミング被害に備え、ATM機に不審な点がないか確認する。
- ・緊急事態に備え、店舗の避難経路等を予め確認する。

(5) 自宅関係

ケース①

- ・留守中の空き巣による窃盗が発生しています。

対策①

- ・常に戸締まりに注意することは当然ですが、一戸建て、アパートに限らず、地上階以外の窓も空き巣の侵入口になる可能性があります。これらの窓に格子を設置する等の補強対策を検討して下さい。警備会社と契約し、警備機器を設置したり、監視カメラを設置したりすることも、被害の未然防犯・拡大防止に有効な手段と言えます。また、留守の予定を知られてしまうと、不在の間を狙われますので、特に長期間不在にする場合は、第三者に悟られることがないように配慮して下さい。

ケース②

- ・配達員を装った強盗に、ドアを開けたところを凶器で襲われ、押し入られる。

対策②

- ・訪問者に対して、不用意にドアや門を開けることがないようにして下さい。ドアスコープやチェーンロック等を設置し、ドアを開放しなくとも、訪問者と外の様子を確認出来るようにすることが重要です。また、防犯カメラを設置し、来訪者だけでなく周囲の状況も確認出来るよう対策することもお勧めします。なお、家は唯一落ち着ける場所ですから、100%の警戒を継続することは、大変困難ですが、例え自身の家の中とはいえども、「自分の安全は自分で守る」ことを決して忘れないで下さい。

ケース③

- ・雇用した使用人が、家屋内の金品を盗んだり、強盗や空き巣の手引きをしたりする。

対策③

- ・使用人の採用については、慎重に検討する必要があります。可能な限り信頼のおける人の紹介で身元の確かな人物を採用して下さい。この種の職業は、貧しい地域の人達が多く、例え本人に盗癖や強盗集団との関係がなくとも、盗みを働くこともあり、出来心を起こさせないように、現金や貴重品の管理には十分注意して下さい。また、日本人は使用人を雇うことに不慣れなため、優しく対応してしまいがちですが、採用後も十分な監督と教育が必要です。一方使用人と、しっかりとした信頼関係を築けば、家庭の安全を守ってくれる大切な一員として、大いに役立ってくれる存在になります。他方、使用人に対し、不信感があれば被害に遭う前に解雇を検討して下さい。ただし、解雇に当たっては逆恨みを買わないよう、労働法に従った対応が必要です。

ポイント

- ・玄関扉や勝手口扉にはドアスコープやチェーンロックを取り付ける

- ・警備機器や監視カメラ等を積極的に設置し、防犯対策に努める。
- ・自宅に訪問者が来た場合は、不用意に扉を開けない。
- ・帰宅時に鍵が開いている等不審な点があれば、絶対に一人では入らない。
- ・非常時に助けを求めることが出来るように、日頃から近隣住民等と良好な人間関係の構築に努める。
- ・現金や貴重品は目につきにくい場所に保管し、使用人には見られないようにする。
- ・見ず知らずの人に家族構成や旅行の予定等をむやみに話さない。

(6) 被害に遭ってしまった場合

万一、不幸にも強盗等の被害に遭ってしまった場合は、落ち着いて冷静に行動して下さい。抵抗しなければ、身体に危害を加えられたり、最悪の事態を招いたりする可能性が低くなります。また、被害に遭われた場合は、警察へ連絡すると共に当館へもご連絡下さい。

ポイント

- ・絶対に抵抗しない。
- ・相手の指示に素直に従う。
- ・相手の顔を見ない。
- ・急な動きをしない。
- ・無理に逃げだそうとしない（誘拐事件）。
- ・必ず救出されることを信じ、希望を忘れない（誘拐事件）。
- ・食事をとり体力を維持する（誘拐事件）。

4. 緊急事態対処

(1) 平素の準備

ア 「在留届」の提出

「在留届」を必ず提出して下さい。用紙の他、[オンライン在留届け（ORRネット）](#)での登録が可能です。旅券・証明のオンライン申請が可能となるほか、航空機事故や大規模災害等の発生時や、事故や事件に遭った際に、「在留届」を基に本人確認を実施することで、そ

の後の手続きがスムーズになります。以上の理由から、住所変更・転出・帰国の際にも必ず連絡をお願いします。

イ 避難場所

緊急事態が発生した場合に備え、事前に避難場所を確認して下さい。総領事館も避難場所となりますので、所在地を把握しておいて下さい。

在レシフェ日本国総領事館

住所：Av. Eng. Domingos Ferreira 1097 Edf. Gabriel Bacelar Corporate 7andar-Boa Viagem-Recife PE CEP:51011-051 BRASIL

電話：(81)3049-8300

ウ 緊急時における携行品の整理・非常用物資の備蓄

旅券・現金・クレジットカードや通帳等を予めまとめておき、直ちに持ち出せるように日頃から整理しておいて下さい。また、緊急事態発生時には、一定期間、自宅で待機することも十分考えられますので、非常用の水・食事・医薬品等は家族全員が最低でも10日間は生活出来る量を準備して下さい。情報を収集するためのラジオ等も準備しておいて下さい(予備の電池も含む)。

(2) 緊急時の行動

流言飛語に惑わされたり、群集心理に煽られたりすることのないように平静を保って下さい。テレビやラジオ、SNSを通じて情報を収集すると共に現地事情に詳しい知人からも情報を入手して下さい。状況によっては総領事館から避難指示等を出すこともあります。また、皆様が入手された情報も総領事館へ提供して頂くようお願いします。情報を共有することで、無用な混乱を避けることが出来ます。

(3) 緊急事態に備えてのチェックリスト

ア 旅券

旅券については、常時6ヶ月以上の残存有効期間があることを確認しておいて下さい。旅券の最終ページの「所持人記載欄」は漏れなく記載しておいて下さい。下段に血液型(Blood Type)を記入しておいて下さい。また、当国における外国人登録証明書等もいつでも持ち出せる状態にしておいて下さい。

イ 現金・貴金属・通帳・クレジットカード等

これらの物は、旅券同様にすぐ持ち出せるよう保管しておいて下さい。現金は、家族全員が10日間生活出来る程度の外貨および現地通貨を予め用意しておくことをお勧めします。なお、出国する場合の出国税および空港使用税（これらが必要な場合）の用意も必要です。

ウ 自動車の整備等

- ・自動車をお持ちの方は常時整備しておくよう心掛けて下さい。
- ・燃料は十分に入れておくようにして下さい
- ・車内には、常時、懐中電灯・地図・携帯電話の充電器・ティッシュ等を備え置き下さい。
- ・自動車をお持ちでない方は、近くに住む自動車をお持ちの方と平素から連絡をとり、必要な場合は同乗出来るように相談しておいて下さい。

エ 携行品の準備

避難場所への移動を必要とする事態に備え、上記ア～ウに加え、次の携行品を備え、すぐに持ち出せるようにしておいて下さい。

- ・衣類・着替え（長袖・長ズボンが賢明。また行動に便利で、麻・綿等吸収性、耐暑性に富む素材が望ましい。）
- ・履物（靴底の厚い頑丈なもの。また行動に便利なもの。）
- ・洗面用具（タオル・歯磨きセット・石けん等）
- ・医薬品等（家族常備薬の他、常用薬・外傷薬・消毒用石けん・包帯等）
- ・非常用食料等

しばらく自宅で待機する場合も想定して、米や調味料、水、缶詰等家族全員で10日間程度生活が出来る量を準備しておいて下さい。自宅から他の場所へ避難する際には、それらを可能な限り携行するようにして下さい。

- ・その他

懐中電灯、予備のバッテリー、ライター、ロウソク、マッチ、ナイフ、缶切り、栓抜き、紙製の食器、割り箸、固形燃料、簡単な炊事用具、ラジオ、可能であればヘルメット、防災頭巾等。

5. 交通事情

(1) 道路事情

道路の状態は日本と比べると非常に悪く、道路に穴が開いていたり、大通りから少し外れるだけで、舗装されていない道路が沢山あります。集中豪雨の際は、排水が追いつかず冠水する箇所も沢山あります。また、路上駐車が横行しており、狭い道の両サイドに車が停められていて、通行の妨げになっていることが日常的にあります。大きな幹線道路でさえ、目の前の車が急に店の前で停車したり、ゴミ収集車が車線を塞いでいたり、自転車の集団が道路の中央を走行していたりします。それらを避けるために急な車線変更を迫られる事が多く、そういった車の動きにも注意が必要です。また、町中至る所に速度自動取締機、ロンバダ(スピード抑止目的で道路にもうけられた起伏)が設置されているため、その付近では急激な減速をする車も多いため、車間距離を十分に確保して、追突しないよう注意が必要です。

(2) 運転事情

ブラジル国内は日本とは異なり、右側通行の左ハンドルとなります。また、大きな道路であっても一方通行である事が多く、そのうえ標識がしっかり設置されていないため、気をつけないと道路を逆走してしまいそうになることがあります。交通マナーは非常に悪く、一般車はもちろん路線バスでさえ、ウインカーを出さない、消さない。強引な割り込みをする、中央車線からの右左折。一時不停止、歩行者がいても停まらない、歩行者も信号を守らない、車が来ていても道路を渡ってくる等、日本との運転感覚の違いは挙げればきりがないう程です。そのため、当然運転時の不注意による交通事故が多発していますので、運転をする際には、周囲の状況に十分注意し、防衛運転に徹するよう心掛けて下さい。また、歩行者よりも車が優先される状況ですので、自分自身が徒歩で横断歩道を渡る際は、例え信号機が青であっても、左右を良く確認して渡るように心掛けて下さい。

6. その他

(1) 主な連絡先

(電話番号冒頭の(81)はペルナンブコ州のエリアコードです)

在レシフェ日本国総領事館

TEL: (81) 3049-8300

Av. Eng. Domingos Ferreira 1097 Edf. Gabriel Bacelar Corporate 7andar-Boa Viagem-Recife-PE CEP:51011-051 BRASIL

警察 190

救急 192

消防 193

ツーリストポリス (DELEGACIA DO TURISTA)

TEL: (81) 3322-4867 (24H 対応)、(81) 3184-3438

エスペランサ病院 (HOSPITAL ESPERANÇA RECIFE) (日本語不可)

TEL: (81) 3131-7878

Rua Antonio Gomes de Freitas, 265 Ilha do Leite Recife PE

ポルトガル病院 (REAL HOSPITAL PORTUGUÊS) (日本語不可)

TEL: (81) 34116-2222

Av. Agamenon Magalhaes, 4760, S/N Ilha do Leite Recife PE

サンタ・ジョアナ病院 (HOSPITAL SANTA JOANA) (日本語不可)

TEL: (81) 3216-6666

Av. Joaquim Nabuco, 200 Gracas Recife PE

レシフェ/グアララパス・ジルベルト・フレイレ国際空港 (運営: AENA BRASIL)

TEL: (81) 3322-4188

レシフェ日本文化協会

TEL: (81) 3255-0692

(2) 簡単なポルトガル語集

ア 簡単なあいさつ

- (ア) ありがとう (男性) Obrigado. (オブリガト)
- ありがとう (女性) Obrigada. (オブリガダ)
- (イ) おはよう Bom dia. (ボン ジーア)
- (ウ) こんにちは Boa tarde. (ボア タルヂ)
- (エ) こんばんは又はおやすみ Boa noite. (ボア ノイ)
- (オ) はじめまして Muito prazer. (ムイト プラゼール)
- (カ) さようなら Até logo. (アテ ロゴ)

イ 緊急時

- (ア) 助けて! Socorro! (ソコロ)
- (イ) 泥棒だ! Ladrão! (ラドラーオン)
- (ウ) 強盗だ! Assalto! (アサウト)
- (エ) 誰か手伝って下さい。Alguem me ajude, por favor. (アウゲン メ アジューテ, ホール ファボール)
- (オ) 警察署はどこにありますか? Onde fica a delegacia? (オンジ フィカ ア デレガシーア)
- (カ) 警察を呼んで下さい。Chame a policia, por favor. (シャメ ア ポリシア, ホール ファボール)
- (キ) パスポートを盗まれました。O meu passaporte foi roubado.
(オ メウ パッサポールチ フォイ ロウバト)
- (ク) 病院に運んで下さい。Transporte-me para o hospital, por favor.
(トランスポールチメ パラ オ オスピタリ, ホール ファボール)
- (ケ) 火事だ! 消防車を呼んで下さい。

Incêndio ! Chame o bombeiro. (インセンジ^ョオ! シヤ^メ オ ボン^ハイロ)

(コ) 誰か日本語 [英語] を話せますか?

Alguem fala japonês [inglês] ? (アウ^ゲン ファ^ラ ジ^ャポ^ネス [イン^グレ^ス])

(サ) 総領事館に電話して下さい。Telefone ao Consulado do Japão, por favor.

(テレ^{フォ}ニ アオ コン^スラ^ト ト^ク ジ^ャポ^ン, ホ^ル ファ^ボール)

以上